

地域密着型金融への取組み状況（平成 19 年度）

【具体的な推進項目】

推進項目	具体的な推進事項	成 果
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化		
(1) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「スコアリングシート」を活用した無担保・無保証人の融資推進 ・県制度資金を活用した無担保・無保証人の融資推進 ・C R Dによる信用リスクデータベースの充実と活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・担保、保証に過度に依存しない融資商品の取扱い 取扱い件数 83 件 金額 494 百万円
(2) 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への参加と研修内容のフィードバック ・融資担当者向けの組合内研修の実施 融資担当役員会議を利用した研修 融資担当役員によるブロック毎の研修 新任融資役員、渉外役員向けの研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への参加と研修内容のフィードバック 外部研修に参加し、研修内容をレポートにて報告 ・融資担当者向けの組合内研修の実施 融資事務の統一化、効率化を図る為に融資担当役員会議等の中で研修を実施 新任融資担当役員や渉外担当役員向け研修を実施
2. 経営力の強化		
(1) 法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス統括部の設置 ・役員による臨店指導の継続実施 ・監査部、コンプライアンス統括部によるコンプライアンス状況の監査実施 ・コンプライアンス担当者による自店チェックの実施 ・組合内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・H19.10.1 コンプライアンス統括部の新設 ・H19.7.2 役員臨店指導に代え営業店長会議を実施 ・コンプライアンス担当者による自店チェックを4半期毎に実施 ・コンプライアンスに関する各種組合内研修を実施 証券業務...店長(営業責任者研修)、役員者(内部管理責任者研修・金商法の研修)、渉外(金商法の研修) 保険業務...店長・役員・渉外向け研修の実施
(2) ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・半期開示の内容の充実 ・「CS向上シート」の活用、「利用者アンケート」を実施 ・総代会機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・半期開示の内容の充実 中小企業金融円滑化への取組状況として、従来の項目に加え、「過度に担保・保証に過度に依存しない融資の実行状況」を追加 ・「CS向上シート」の活用、「利用者アンケート」の実施 利用者満足度アンケート調査を実施。 アンケート結果は、ホームページにて公開。
(3) リスク管理態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理の高度化の検討と確立 ・情報開示の拡充に係る態勢整備の検討と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理の高度化の検討と確立 平成 18 年度に実施したパーゼル による自己資本比率算出についての検証を実施。

<p>(4) 収益管理態勢の整備と収益力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規融資案件の収益性を考慮した適正な融資利率についての指導を実施 ・「融資推進チーム」による融資指導、融資情報収集を推進 ・C R Dによる信用リスクデータベースの活用 ・既存融資について、債務者のリスクにあった適正な融資利率への見直しの実施 ・各種手数料に対する徴求状況の集計管理と完全徴求の指導を実施 ・リスク量の管理をしながら、有価証券等での効率的な運用を実施 ・A L Mシステム新バージョンへの切り替え 	<ul style="list-style-type: none"> ・「融資推進チーム」による融資指導、融資情報収集を推進 融資推進チーム（24名）により、24店舗で融資情報収集活動を実施 ・C R Dによる信用リスクデータベースの活用 新規融資時、債務者のリスクに見合った適正金利を判断する為、C R D（有限責任中間法人C R D協会）を本格的に導入し、「C R D評点」に基づいた商品、「スマイルQ保証『企業』」（岐阜県信用保証協会提携商品）の取扱を本格的に開始 平成19年度 取扱実績 38件 - 228百万円 ・各種手数料に対する徴求状況の集計管理 融資事務手数料、損保窓販手数料、生保窓販手数料等の徴求状況を継続的に集計し管理 ・有価証券運用およびその他資金運用 投資計画に従い、毎月リスク量を計測しながら効率的な運用を実施 ・A L Mシステム新バージョンへの切り替え 新システム導入に向けて、移行データの作成と信組情報サービスによるデータ検証の実施
<p>3. 地域の利用者の利便性向上</p>		
<p>(1) 地域の利用者の利便性・満足度向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「CS向上シート」の活用 ・利用者満足度アンケート調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「CS向上シート」の活用 各店から報告された当該シートの内容について本部にて分析し、必要に応じて、営業店へフィードバックし、情報の共有化を図り、顧客満足度向上の一助とした。 ・「利用者アンケート」の実施 利用者満足度アンケート調査を実施 アンケート結果は、営業店長会議にて営業店長へ通知すると共に、通達にて各店に通知した。さらに、ホームページにて公開。
<p>(2) 相談苦情処理機能の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「クレームシート」の活用推進 ・「クレームシート」の事例を営業店へフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> ・「クレームシート」の活用推進 お客様相談室により、「クレームシート」への記載方法、対応方法についての指導を実施 ・「クレームシート」事例の営業店へのフィードバック お客様相談室が、各支店より報告された「クレームシート」について分析を行い、必要に応じて全店へ情報をフィードバックするとともに指導を実施 なお、重要案件については、コンプライアンス・リスク管理統括委員会にて内容等を検討し、適宜、必要な対応を実施
<p>(3) 地域貢献等に関する情報開示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献に関する情報開示 ・利用者満足度アンケート調査結果の公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献に関する情報開示 平成18年度と同様に当組合が行った取組みについて、ディスクロージャー誌、及びホームページにて情報を開示 ・利用者満足度アンケート調査結果の公表 平成19年度のアンケート調査については、ホームページにて情報開示を実施

【経営改善支援の取組み実績】

期初支援対象数 A	うち 経営改善支援 取組先数	のうち 期末に債権者区分が ランクアップした 先数	のうち 期末に債権者区分が ランクアップしなかつ た先数	のうち 期末に債権者区分が ランクアップしなかつ た先数	経営改善支援取組率 / A	ランクアップ率 /	再生計画策定率 /
3,711 先	58 先	6 先	41 先	0 先	1.6%	10.3%	0.0%

【創業・新事業支援融資実績】

平成19年度中 8件、50百万円

注) 創業・新事業支援に資金用途を限定した融資商品のほか、当組合融資等のうち創業・新事業支援としての実績の把握が可能なものも含んでおります。

【中小企業に適した資金供給手法】

動産・債権譲渡担保融資の実績

平成19年度中 1件、6百万円

- 注) 1. 「動産・債権譲渡担保融資」は、リース債権およびクレジット債権を担保とした
 2. 残高は、当組合とお客様との間の直接の貸出契約であり、SPCや信託銀行を経由した取引は含みません。
 3. 動産・債権について、担保権設定契約をしているもののみを対象としております。

財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資商品による融資

平成19年度中 1件、2百万円

- 注) 1. 平成18年度以前に取扱いを開始した融資商品のうち、今年度中に融資実績のあるものを含みます。
 2. TKCとの連携による融資実績のほか、独自の新品開発(TKC関連以外)の実績を含みます。